

丹後市民局

ルックルック！

NEWS
R4.1月号謹賀
新年

風情豊かな間人「城嶋」

その名の示すとおり室町時代に間人周辺を治めた武将荒川武蔵守の城址として伝えられている城嶋。周囲約4キロメートルの島の西側の入り江には、かつて小さな貝殻（貝砂）だけでできた美しい砂浜がありました。潮流の変化のためか昭和50年代にその砂浜は姿を消し今は見る事ができません。「間人盆踊り唄」では「たいざ〜城の瀬にお茶屋をたててよ、上り下りの舟を待つよ」と唄われます。海上交通の立ち寄り処として栄えた頃、城の瀬にあったお茶屋の賑わいに思いを馳せます。



↑丹後市民局ルックルックNEWSのバックナンバーはこちら

地域おこし協力隊丹後町担当の前川典代が、丹後町を応援する人や魅力的な場所を紹介するコーナー

丹後町な場所

「経ヶ岬灯台に登る遊歩道の木漏れ日」



初めて歩いたあの日、灯台保存会の方々と歩道のお手入れに上がりました。一段一段落ち葉を掃き小石を寄せながら、この道を進むとどんな景色が広がっているんだろう？弾む気持ちを包み込んだ木漏れ日の先には、白く優雅な灯台と見渡す限りの青い景色が待っていました。

一元旦は朝日を拝みたいー今年は雪で断念しましたが、お天道様は毎日東からやってきます。お天気の良い日にリベンジしたいと思います。

トレーニングが趣味の地域づくり支援員吉岡秀真が「丹後町な体操」を紹介するコーナー！

たんど健康体操

第21回「城嶋うらにしの型」

この時期は冷たい北風が吹き荒れ、その風に当たると体温が一気に下がります。

今回の体操は大きい筋肉を使うため、体も温まります。

- ① 両手両膝を地面に着き、両手で地面を押すようにして背中を丸めてから、お腹をへこませ、この状態を保ちます。
- ② 口から勢いよく息を吐き、更にお腹をへこませます。
- ③ 息が出なくなってから4秒数え、お腹をへこませたまま鼻から息を吸います。

②～③を4回ほど繰り返し、余裕があれば回数を増やしてください。

（地域づくり支援員 吉岡秀真）



掲載団体や話題を大募集！

スポーツ、文化芸術、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局（TEL0772-69-0714）

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

丹後町な人

今回は軽快なリズム“宮津節”でおなじみの山庄いととめEAT店 移動販売車「留ちゃん号」(以下…移動スーパ)と坂本さんの登場です。与謝野町加悦出身の坂本さんは21歳で株式会社いととめに入社し商品の仕入れを担ってきた大ベテランです。趣味は釣り釣り！

移動スーパを始めたきっかけは？と聞くと、「今から10年ほど前、買い物にきていたおばあさんやおじいさんの姿が見られなくなった。自力で買い物に出られなくなって困っている人がたくさんいることに気づいて、自分の親の姿とだぶって見えてね。」と当時の想いを語る坂本さん。

退職を見据えて仕入れのノウハウを引き継ぎ、9年前に大宮町で買い物に困る人のために移動スーパを立ち上げました。それが「留ちゃん号」ですね！



山庄いととめEAT店
移動販売車「留ちゃん号」
坂本 数馬さん

「それでも届けられない方がいる。」自力で買い物に行ける人や家族が食を支えてくれる人、移動スーパで自力で来る人が良い。一きりでだんだん自力で来ることができなくなってしまう。一緒に移動スーパで回らせてもらっていると「毎週顔を見ていたけど、先週から姿を見ていないな」、「あのおばあちゃん」

「地域おこし協力隊 前川 典代」

「買い物にきたお客さんに「よく買い物にこられますか？」と声をかけてみると、Aさんは「ほんとに助かっている。移動の足がないし、欲しい商品を自分で選んで買えるってことが嬉しい。」、Bさんは「実は今日は他で買い忘れがあった！」(笑)でもよく来るのよ、Cさんは「毎週ほど来るよ、坂本さんのやり取りも好きだね。」とお答えいただきました。するとそのやり取りを聞いていた坂本さんは「移動スーパに期待しすぎたらあかんぞ！こんだけの車に何でもかんでも積み入れんから！」(笑)「なんて言いながらも、お客さん一人一人の好みや要望、顔色までもしっかりと把握している坂本さんは素晴らしいです。」

「スーパがお客さんを支える、お客さんもスーパを支える、そしてお客さんがお客さんを支える。利益優先ではなく、とてできることではない、けれど自然と良い関係性が築かれている素敵な「留ちゃん号」と「坂本さん」でした。」



工夫された内装

Tango 地域 news

間人のまちづくりを考えるワークショップを開催(同志社大学との共催)



同志社大学「京丹後移住促進プロジェクト」チームと「まるつぽ間人プロジェクト推進協議会」が連携し、間人のまちづくりを考えるワークショップを11月13日(土)と12月11日(土)に開催しました。

各会とも事前申込みのあった約30人が集まり、間人地区の「自然・観光」や「教育」、「福祉」などテーマごとに地域の魅力や課題を拾い出しました。



テーマごとに多くの意見が提案されました。

間人地区には城嶋公園や立岩などすばらしいロケーションが存在するが、地域の魅力発信に活用しきれいていない。消防団や地区役員の集会等の理由がないとみんなが集まる機会がないため、移住者が地域のコミュニティに参加しにくい。みんなが集まりやすいコミュニティの場が欲しい。間人地区内に仕事が無い、他地域まで仕事に行かざるを得ない。間人漁港で水揚げされる海産物を活用したビジネスができないか。など多くの意見が提案されました。

宇川わくわく教室クリスマス会にサンタクロースが訪れる

12月22日(水)に宇川アクティブライフハウスにて「宇川わくわく教室クリスマス会」が開催されました。

宇川地区の子ども約25人とともに、民生委員、サンタクロースに扮した米軍関係者が参加し、イス取りゲームやじゃんけん列車を楽しみました。

じゃんけん列車は、じゃんけんに勝った人の後ろに負けた人が「連結」していき、ゲームが進行するほど「列車」が長くなるゲームです。決勝戦として勝ち上がった2つの列車によるじゃんけん対決は、緊張の瞬間で、決着の瞬間が最も盛り上がりしました。

ゲーム終了後は、来場者にサンタクロースからささやかなクリスマスプレゼントが手渡されました。

